

岐阜羽島駅前に「BLOCK47」*¹ オープン

～運動(サイクル)、食、そして対話をテーマにした新たな生活提案の場～



私たちは今、人口減少や長寿社会の到来など社会の構造的な転換点に立っています。人生100年社会を迎え、またこのコロナの時代に生きる私たち自身の生活を見つめ直す中で、「心の豊かさとは何か」といった問いを自らに投げかける中で、私たちは誰かとつながり、「対話」したがつていることを、そして「健康」こそが大切であることを、あらためて感じています。

私たちは、そこから「食」「運動(サイクル)」そして「対話」という3つのキーワードにたどり着きました。この3つの要素が有機的につながり、広がる。心躍るような、ワクワクする、そして日々の生活が楽しくなる体験、こんなことも、あんなことも、心と体が動く日常生活、そんなことを大切にしながら、あらたな生活が体感できる場所、そしてそれを誰かと共有したり、発信したくなるような場所、それがBLOCK47の目指す姿です。

*¹<https://block47.jp/>



■人生 100 年社会デザイン財団がコンセプト、運営を指導

一般財団法人人生 100 年社会デザイン財団*²は 2020 年 10 月1日に設立されました。これからの人生 100 年社会のグランドデザインを描き、社会に実装していくことを本旨としています。

BLOCK47はこうした社会においてあらたな生活提案をする場として同財団がそのコンセプトづくりに関わり、運営についても指導しています。人々が集い、日々対話を重ね、人と人との関係、人と自然との関係、人と社会の関係を紡ぎ出す場として BLOCK47 を位置付けています。

*²<http://www.100design.or.jp/>

従来型の「ものを売る」施設でないあらたな生活提案の場。

「対話」を基本コンセプトとして、そこに「食」・「運動(サイクル)」を重ねて一つの場所に集約し、ONE STOP 型のサービス拠点として展開します。「運動」は自転車、Cycle です。そして、「食」は地産地消の対話型・デリバリー型カフェレストラン、Eats です。コンセプトに沿った様々なサービスを提供することで、『健康でしあわせに、そして豊かな人生 100 年を描くこと』を目指します。

「走る」を共にしたり、「食べる」を共にすることで話が弾んだり、仲間だけでなくサイクルや食の体験をもっと多くの人と共有をしたり、また他人の体験に興味を持ち自身も体験したり、そしてそれをまた他人と共有したり。。自分だけでなく周りにも発信していけるような体験や、豊かな人間関係を築けるような空間での対話を通じて自らがより豊かになる。それはさまざまな形でつながり、むすび、広がっていく。自転車の車輪が回るように、また四方八方に展開し続ける。それが、BLOCK47 です。

■施設サービス概要

場所:〒501-6256 岐阜県羽島市福寿町千代田 3 丁目 54 岐阜羽島ガーデンモール内(JR 東海道新幹線・岐阜羽島駅下車、西方向へ徒歩 5 分で到着します。)

■対話

【対話スタジオ】

正面入口を入ると対話エリアです。正面入口左側には「対話スタジオ」があり、今後は様々なイベントや、オンライン発信が行われる予定です。

施設側から単方向に提供するだけでなく、「おいしいね」や「たのしいね」といった「気づき」、「感動」や「驚き」に出会えるような体験を創造する場として、来場者との交流型発信の場となるよう目指しています。

■食



【BLOCK47Eats】

東京白金台の八芳園の監修・プロデュースのもと、地元の生産者が想いを込めて作る食材を丁寧に活かした料理を提供します。

コンセプトは人と人との「つながり」を「むすぶ」ことです。「食」を通じてお客様と生産者様を結び、地産地消にこだわったメニューで岐阜の素晴らしさを感じることができます。

また「自転車」と「食」を通して「対話」を楽しむ一つのシーンとして、自転車で地元の生産者様を巡り、その場所でしか味わえない農業体験や伝統工芸のワークショップ、生産者の方々、職人の方々との触れあいなど、様々な体験やイベントを作る予定です。

【BLOCK47 Gifts】

「つなぐ」をテーマに、地元岐阜をはじめとする日本各地の素晴らしい品々を皆様にお届けする物販エリア「BLOCK47 Gifts」。食・職人・工芸・文化をつないで、近隣のみならず全国よりご来店された方々に、様々な魅力と情報を発信します。

■運動(自転車)

BLOCK47Cycle では、自転車を売るのではなく、「自転車を通して様々な体験ができる施設」であることをコンセプトに、自転車を通した「健康づくり・新たなライフスタイル」を提案・提供します。ご自分の自転車を是非お持ち下さい。BLOCK47 を中心にしたライドも計画しています。

【レンタサイクル】

初心者からベテラン自転車乗りの方々まで楽しめます。高級レンタサイクルがレンタルできるのも魅力的です。今後は 50 台ほどを取り揃える予定です。



【体験型 DIY 工房】

「自転車に関連したモノづくり」をテーマに、自転車やライド用小物等を製作する教室となります。溶接から学べるよう、TIG 溶接機やガス溶接(ロウ付け)ができる機材を揃え、専門の講師を招いて「作る楽しみ」を掘り下げて行きます。



【修理・メンテナンス】

修理はもちろん、持ち込みでの部品組付けや個別購入された自転車の整備なども承ります。施設内に洗車ブースを備え、スタッフによる洗車サービスも対応いたします。

【シャワーブース】

完全男女別のシャワーブースとロッカールームを備えております。ライド前に荷物を預け、戻ってからシャワーでスッキリしカフェでお茶やお食事を楽しむなど、BLOCK47 を拠点に休日の充実した時間が広がります。

【スマートトレーナー】

未経験の方でも屋内で自転車ツーリングを体験・体感できます。また、スマートトレーナーを通して世界の有名な場所を心地よくライドすることもできます。



BLOCK47 オープニング記念フォーラム

「食・運動・対話」をテーマにした体験型サイクルステーション&カフェ



2022年4月15日、BLOCK47 対話エリアにて、施設のコンセプトや理念、関係者それぞれの思いなどを語っていただきました。以下に当日の抜粋内容を掲載します：

※当日フォーラムの様子はこちらよりご覧ください <https://youtu.be/11QtM2YHj7A>

■登壇者

(一財)人生100年社会デザイン財団代表理事 牧野篤氏

(株)八芳園 取締役社長 井上義則氏

(株)サギサカ 代表取締役 匂坂慎祐氏

(株)箕浦 取締役社長 箕浦隆氏

ジーエフシー(株) 代表取締役 西村公一氏

大日産業(株) 代表取締役 林幹根氏

司会進行:(一財)人生100年社会デザイン財団 事務局 井上昌之氏

■登壇者のコメント：

(大日産業(株) 代表取締役 林幹根氏)コロナ禍で商業施設は人流が止まりテナントの撤退は相次いだ。トレンドや流行り物を追ったテナント誘致では今後は上手くいかななくなるだろうと考え、BLOCK47では、この地域、この人に必要となるテーマを模索し、コンセプトに合った取り組みをしていきたい。

((株)サギサカ 代表取締役 匂坂慎祐氏)今までも物販、発信などを通して自転車に乗る人の楽しみを増やせないか、自転車の価値や可能性を広げるにはどう

すればよいかと考えてきたが、BLOCK47では同じ志の人に出会えることができ、「繋がり」「コミュニケーション」から可能性を感じている。是非自転車に乗っていない人にも乗ってもらえるようになればと考えている。

（(株)箕浦 取締役社長 箕浦隆氏）ものを作っている上で一番大事にしているのが「会話」だと考えている。BLOCK47では日本の自転車の情報発信拠点として、また「食」と「自転車」についても関係者皆さまと力を合わせて魅力を発信したい。

（ジーエフシー(株) 代表取締役 西村公一氏）コロナ禍で食の産業も大変なダメージを受けた。「今後の食をどうするか」を考えていくときに今回のプロジェクトにたどり着いた。やはり1社では限界があると感じた、これからは、異業種ともコラボレーションをしそれぞれの良さを発揮しつつ、地元の岐阜で貢献していきたいと考えている。



（左から：大日産業(株) 代表取締役 林幹根氏、(株)サギサカ 代表取締役 匂坂慎祐氏、(株)箕浦 取締役社長 箕浦隆氏、ジーエフシー(株) 代表取締役 西村公一氏）

（(株)八芳園 取締役社長 井上義則氏）

「おふくろの味」、「郷土料理」、「日本的洋食」、「日本的インドカレー」などなど、色々な国の食文化と日本の食材は新たな価値を生み出すと感じてきた。八芳園は地域との連携協定をしていき、食と地域コミュニケーション、社会的課題をみんなで話をしていきながら、新たな発見を気づくソーシャルダイニング、開かれた食卓を大事にしていきたいと考えている。

BLOCK47とは八芳園のポップアップストア「Musubu」とオンラインで結びながら同じものを一緒に食べたり、オンライン版ソーシャルダイニングも今後できるのではないかと考えている。

また、今回 BLOCK47 では同業種が協



業して分業をしている。今後は遠隔からサポートするなどを含めた、新たな食の提供モデルがここから発信できることを期待する。

((一財)人生 100 年社会デザイン財団代表理事 牧野篤氏)



良好な人間関係がある人が健康的に長生きできるというデータがある。「みんなとやっている」という気持ちが健康な長生きにつながっていく。BLOCK47 は、様々な業態の人がコラボをしながら作っており、もちろん、ここを使う人もその一員だ。この場所がバージョンアップしていくことで自分もその一員と感じてもらいたい。

これからの社会は、商品売って終わりではなくそこから関係がスタートする。商品の購入などをきっかけに「その人の人生にこれからも伴走しますよ」というものであると考える。

BLOCK47がある種の生態系のような、終わらない進化を続ける場所になっていくことを願う。一人一人が主役、良い関係を作りながら自分の希望を実現していく、その姿を見せることがこの世の中を良くしていける方法だと考えている。

お問い合わせ先:

BLOCK47担当者:0120-326-219

人生 100 年社会デザイン財団事務局:03-6408-6177